



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 5 年 10 月 実績

October 2023



令和 5 年 12 月

December 2023

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics
Economic and Social Research Institute
Cabinet Office, Government of Japan

目 次

2023（令和5）年10月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

（ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

（ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。
https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

2023（令和5）年10月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、9月15.1%増の後、10月は7.6%減となった。

需要者別にみると、民需は、9月4.9%増の後、10月は1.9%減となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、9月1.4%増の後、10月は0.7%増となった。内訳をみると製造業が0.2%増、非製造業（船舶・電力を除く）が1.2%増であった。

一方、官公需は、9月63.0%増の後、10月は防衛省、「その他官公需」等のすべてで減少したことから、37.9%減となった。

また、外需は、9月18.2%増の後、10月は産業機械、電子・通信機械等で増加したものの、原動機、船舶等で減少したことから、3.4%減となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、9月20.1%減の後、10月は原動機、電子・通信機械で減少したものの、道路車両、産業機械等で増加したことから、24.1%増となった。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、9月1.8%減の後、10月は0.2%増となった。

10月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、金属製品（27.3%増）、業務用機械（17.4%増）等の7業種で、石油製品・石炭製品（45.5%減）、非鉄金属（41.2%減）等の10業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、9月9.3%増の後、10月は1.0%減となった。

10月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、不動産業（129.4%増）、卸売業・小売業（29.0%増）等の7業種で、リース業（73.4%減）、通信業（13.0%減）等の5業種は減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

10月の販売額は2兆5,777億円（前月比1.4%増）で、前3か月平均販売額は2兆5,140億円（同0.4%増）となり、受注残高は36兆5,815億円（同0.7%減）となった。この結果、手持月数は14.6か月となり、前月差で0.2か月減少した。

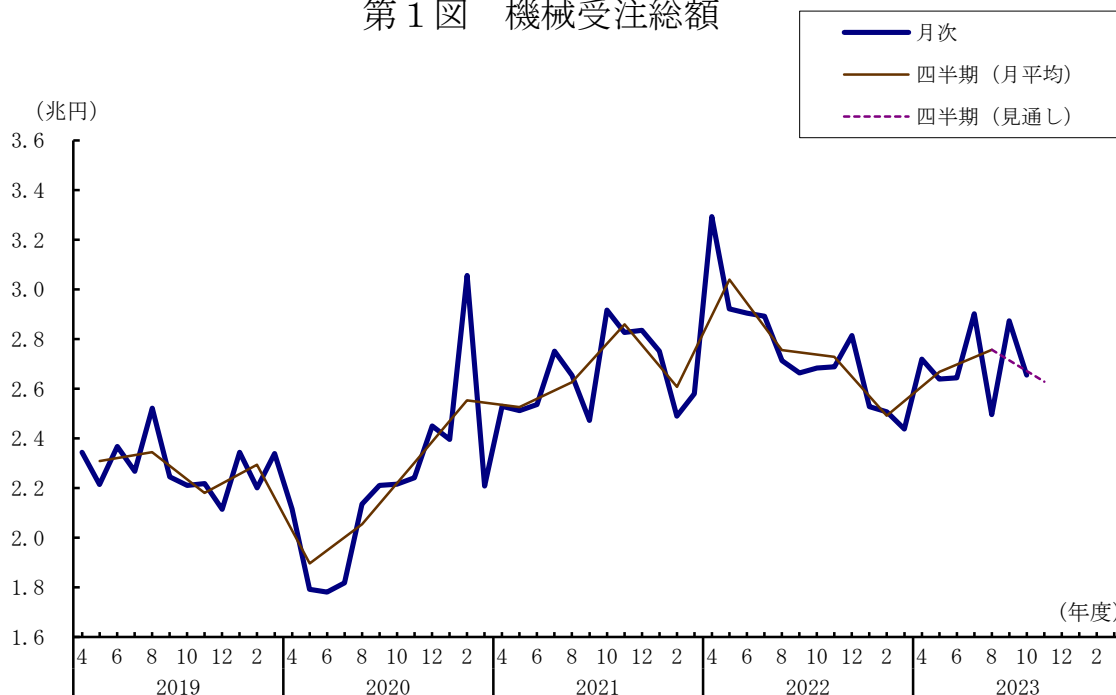
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

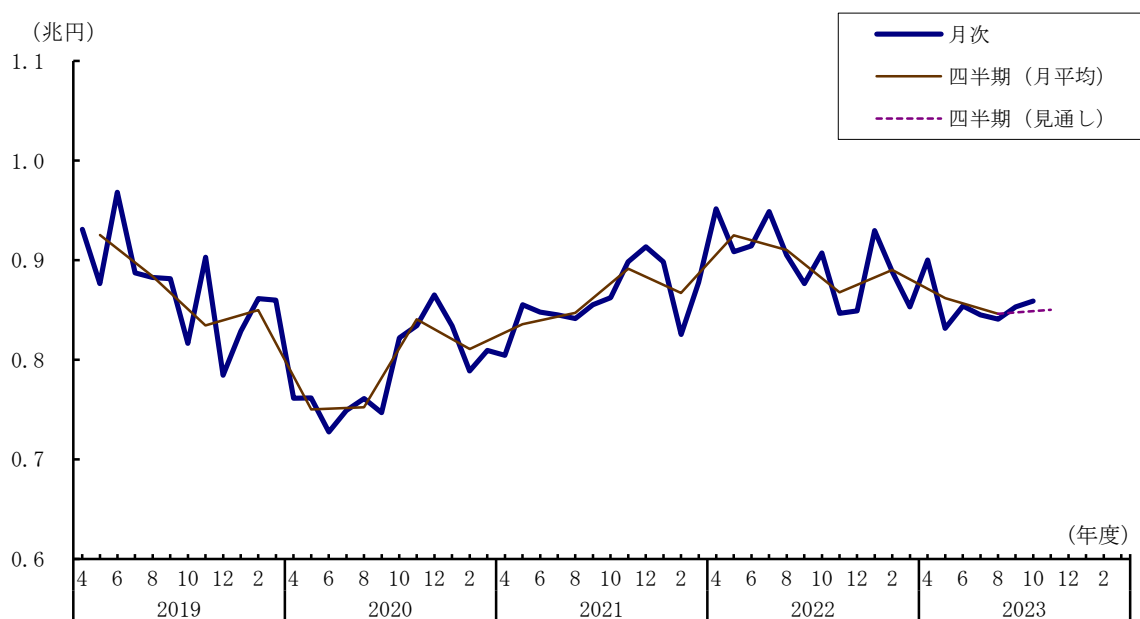
期・月 需要者	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)			2023年 (令和5年)			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	7月	8月	9月	10月
受注総額	81,850 (-1.0) [-4.9]	74,716 (-8.7) [-4.5]	80,011 (7.1) [-11.8]	82,701 (3.4) [0.1]	29,014 (9.8) [0.8]	24,957 (-14.0) [-8.5]	28,729 (15.1) [6.4]	26,544 (-7.6) [-0.0]
民需	28,877 (-8.3) [-12.4]	30,930 (7.1) [4.0]	30,237 (-2.2) [-5.8]	32,792 (8.4) [3.5]	12,790 (26.6) [16.1]	9,761 (-23.7) [-7.7]	10,241 (4.9) [2.0]	10,047 (-1.9) [4.4]
〃 (船舶・電力を除く)	26,028 (-4.7) [-3.6]	26,705 (2.6) [1.8]	25,855 (-3.2) [-6.7]	25,385 (-1.8) [-7.2]	8,449 (-1.1) [-13.0]	8,407 (-0.5) [-7.7]	8,529 (1.4) [-2.2]	8,587 (0.7) [-2.2]
製造業	12,255 (-10.6) [-8.4]	12,492 (1.9) [-6.2]	12,627 (1.1) [-10.5]	12,306 (-2.5) [-10.8]	4,067 (-5.3) [-9.1]	4,157 (2.2) [-14.1]	4,082 (-1.8) [-9.3]	4,092 (0.2) [-1.9]
非製造業 (船舶・電力を除く)	13,955 (2.1) [1.1]	14,401 (3.2) [9.6]	13,134 (-8.8) [-2.7]	13,034 (-0.8) [-3.5]	4,376 (1.3) [-16.6]	4,209 (-3.8) [0.5]	4,448 (5.7) [4.3]	4,500 (1.2) [-2.3]
官公需	7,529 (-3.6) [-13.1]	9,026 (19.9) [0.4]	10,132 (12.2) [16.4]	10,445 (3.1) [37.7]	3,431 (0.7) [43.5]	2,666 (-22.3) [-3.3]	4,347 (63.0) [64.2]	2,699 (-37.9) [1.7]
外需	41,056 (2.4) [2.6]	32,252 (-21.4) [-13.7]	35,702 (10.7) [-22.0]	36,204 (1.4) [-9.2]	11,957 (1.6) [-16.2]	11,113 (-7.1) [-11.6]	13,135 (18.2) [-0.6]	12,681 (-3.4) [-4.2]
代理店	3,579 (1.4) [-4.0]	3,584 (0.1) [8.5]	3,606 (0.6) [-1.7]	3,429 (-4.9) [-3.3]	1,150 (-7.9) [0.4]	1,266 (10.1) [7.8]	1,012 (-20.1) [-15.3]	1,257 (24.1) [6.2]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2023年10～12月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2023年9月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。

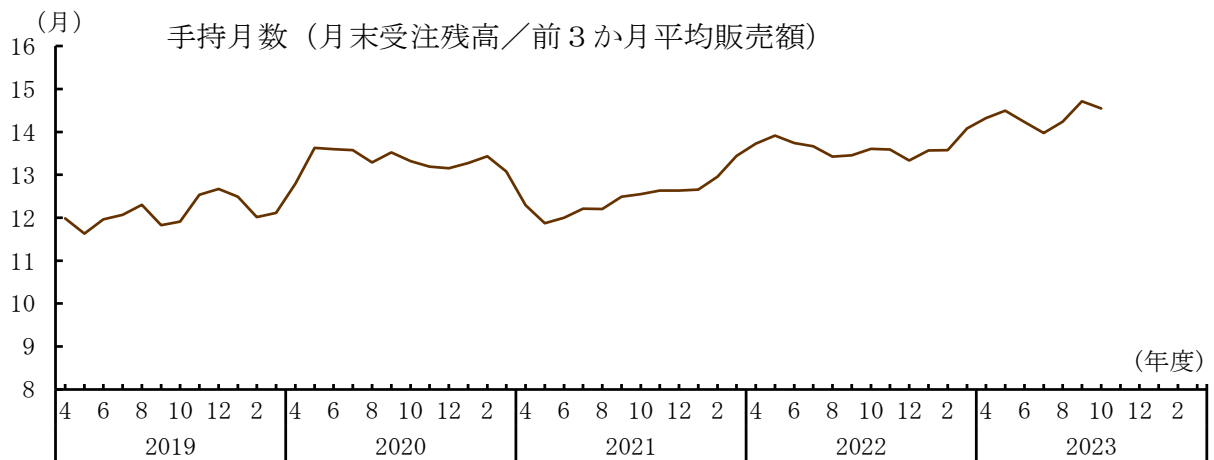
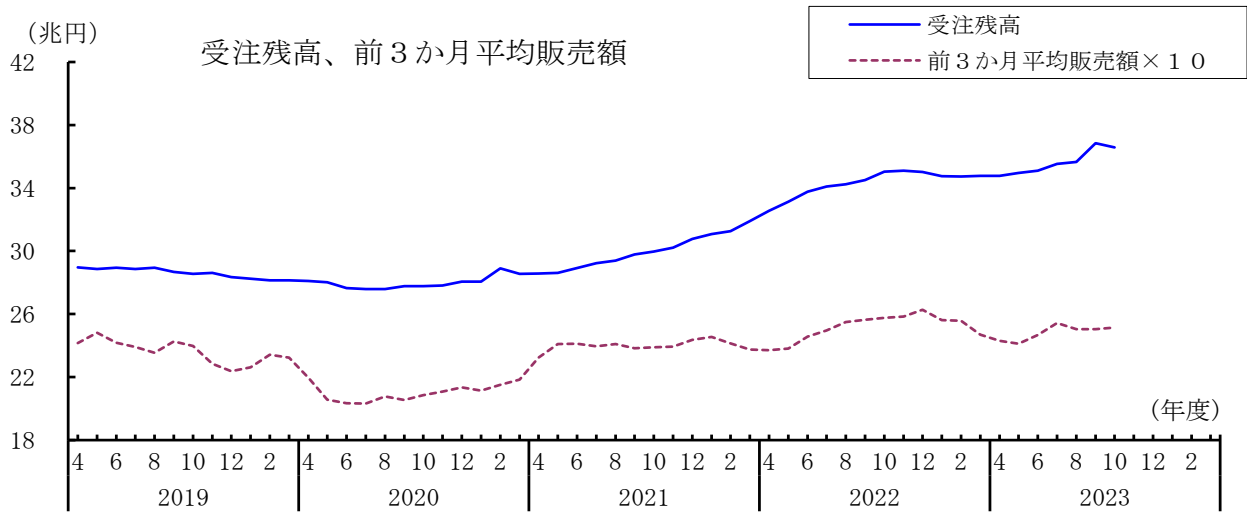
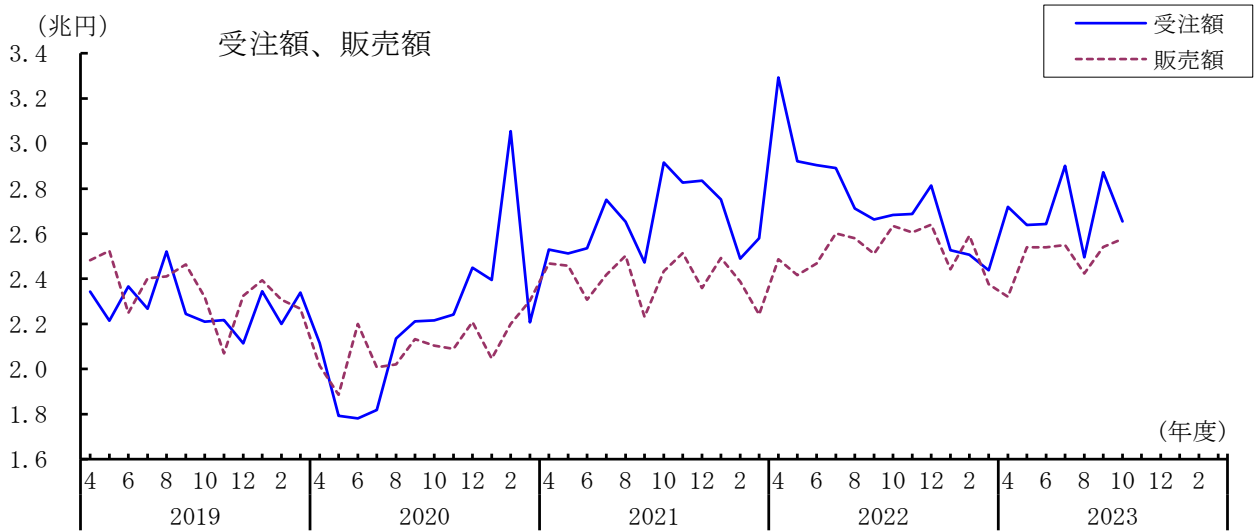
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月	2022年	2023年			2023年			
		(令和4年) 10～12月	(令和5年) 1～3月	4～6月	7～9月	(令和5年) 7月	8月	9月	10月
I 製造業計		-10.6	1.9	1.1	-2.5	-5.3	2.2	-1.8	0.2
1 食品製造業		19.9	-12.2	10.0	-1.1	18.7	-39.8	23.9	10.6
2 繊維工業		-25.3	-5.6	110.1	-55.4	-27.9	-24.9	17.5	-5.0
3 パルプ・紙・紙加工品		-28.5	10.0	-12.9	165.5	304.7	-20.8	-66.6	-11.6
4 化学工業		-24.8	6.9	21.7	48.4	-25.0	206.1	-61.4	-22.3
5 石油製品・石炭製品		-7.6	36.4	61.8	-42.9	-57.5	-35.1	119.7	-45.5
6 窯業・土石製品		-18.2	31.7	-7.9	-1.8	17.4	-4.2	1.3	-11.4
7 鉄鋼業		9.7	-11.9	-1.1	10.1	5.0	4.6	7.4	10.1
8 非鉄金属		-47.8	32.0	-37.6	-15.8	-21.7	-48.9	87.1	-41.2
9 金属製品		2.4	-0.2	-8.8	-7.2	-16.2	1.6	11.5	27.3
10 はん用・生産用機械		-11.5	7.8	2.0	3.6	2.9	4.9	-14.4	8.9
11 業務用機械		1.1	-3.6	-25.9	-2.3	-12.0	21.1	-11.7	17.4
12 電気機械		-13.7	-10.8	5.7	-12.1	-23.8	-1.7	29.1	-25.2
13 情報通信機械		-11.0	-21.5	-2.4	2.5	-16.2	-16.9	50.9	-39.0
14 自動車・同付属品		-8.4	-0.5	11.3	-2.5	-21.4	15.0	6.4	-10.0
15 造船業		-19.0	67.5	-24.1	-9.1	-19.8	52.5	75.7	-22.3
16 「その他輸送用機械」		-8.4	-13.5	54.5	-11.4	-8.2	-12.6	11.4	5.3
17 「その他製造業」		-16.4	19.3	-9.5	-10.5	20.1	-12.2	-8.0	53.4
II 非製造業計		-4.5	9.7	-5.1	17.0	49.1	-36.9	9.3	-1.0
18 農林漁業		16.3	5.5	-14.1	-0.5	8.5	3.3	-7.4	-0.2
19 鉱業・採石業・砂利採取業		129.6	-52.1	-11.9	9.2	27.9	21.7	1.4	10.3
20 建設業		13.7	30.8	-38.6	10.3	29.2	1.6	-0.0	-5.9
21 電力業		-16.4	27.8	30.6	70.4	237.6	-79.4	24.7	25.5
22 運輸業・郵便業		-34.8	29.2	-19.7	3.1	-3.9	5.3	-14.0	9.1
23 通信業		-15.5	28.9	-30.5	4.0	-21.0	14.4	16.4	-13.0
24 卸売業・小売業		6.2	-9.7	-13.3	10.0	13.3	16.7	-15.3	29.0
25 金融業・保険業		2.4	-6.3	22.5	-9.6	-8.0	-15.8	25.3	0.3
26 不動産業		-22.0	17.4	13.6	-29.1	-11.0	26.4	-59.1	129.4
27 情報サービス業		10.0	-2.7	-0.4	-12.0	-5.9	5.5	-10.1	-6.6
28 リース業		4.6	-0.5	27.5	79.3	-38.7	113.2	145.1	-73.4
29 「その他非製造業」		-2.5	-0.0	-3.8	8.4	16.6	-0.6	-9.3	5.7

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

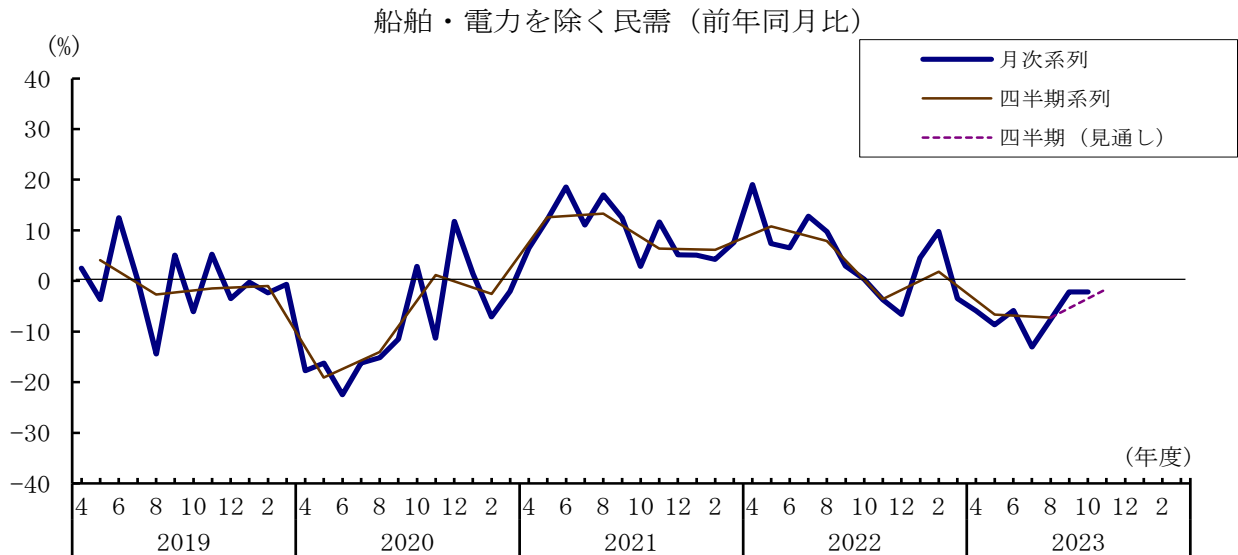
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

10月の受注総額は、2兆3,775億円の前年同月比0.0%減となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2023年10～12月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2023年9月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は8,729億円で前年同月比4.4%増（船舶・電力を除くと同2.2%減）、官公需は2,428億円で同1.7%増、外需は1兆1,327億円で同4.2%減、また、代理店は1,291億円で同6.2%増となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比1.9%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、造船業（30.2%増）、「その他輸送用機械」（23.8%増）等の9業種で、非鉄金属（63.0%減）、情報通信機械（48.2%減）等の8業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比9.9%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、電力業（86.9%増）、不動産業（31.4%増）等の8業種で、情報サービス業（39.6%減）、建設業（16.3%減）等の4業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

10月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、船舶（129.7%増）、原動機（46.1%増）等で増加となった。反面、重電機（26.3%減）、工作機械（16.9%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比0.0%減となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（148.9%増）、

船舶（123.6%増）等で増加となった。反面、工作機械（28.0%減）、鉄道車両（13.4%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比4.4%増となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2022年 (令和4年) 10~12月	2023年 (令和5年) 1~3月	4~6月	7~9月	2023年 (令和5年) 7月	8月	9月	10月
民需総額	-12.4	4.0	-5.8	3.5	16.1	-7.7	2.0	4.4
原動機	-37.6	4.3	9.0	44.2	379.4	-53.9	-9.6	78.6
重電機	-17.7	4.6	-17.8	8.9	-6.7	4.1	26.0	-8.2
電子・通信機械	-4.1	-1.4	-2.6	-3.4	-3.8	-8.1	-0.4	-8.0
産業機械	-2.5	9.4	-8.8	4.1	-5.5	14.8	3.6	5.3
工作機械	-11.3	-11.3	-25.7	-28.3	-27.3	-33.1	-24.5	-28.0
鉄道車両	33.1	25.6	10.6	-55.3	-86.4	9.7	-0.0	-13.4
道路車両	-24.2	-17.9	33.2	50.6	60.0	47.0	46.6	64.3
航空機	-7.0	7.6	17.5	101.7	234.7	3.5	138.8	148.9
船舶	-89.8	64.5	-65.8	-50.0	-73.7	321.8	-54.0	123.6

(備考) 原系列による対前年同期(月)増減率。

(2) 販売額

10月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、原動機（11.3%増）、工作機械（7.8%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（30.4%減）、重電機（12.9%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.0%減となった。

(3) 受注残高

10月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、船舶（50.8%増）、航空機（18.0%増）等で増加となった。反面、道路車両（20.8%減）、工作機械（6.5%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比4.4%増となった。

2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

(1) 鉄構物

10月の受注額は、216億円で前年同月比6.0%減、販売額は、237億円で同20.6%減、受注残高は、4,571億円で同9.2%減となった。

(2) 軸受

10月の受注額は、660億円で前年同月比10.2%増、販売額は、615億円で同2.1%増、受注残高は、1,261億円で同13.2%増となった。

(3) 電線・ケーブル

10月の受注額は、1,407億円で前年同月比14.0%増、販売額は、1,227億円で同15.6%増、受注残高は、3,267億円で同48.9%増となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表
目 次

[グラフ]

第1図 主要需要者別受注額	-----	9
第2図 主要業種別受注額	-----	12
第3図 主要機種別受注額	-----	17

[計 数 表]

需要者別受注額（季節調整系列）	-----	18
機種別受注残高手持月数（ 〃 ）	-----	23
需要者別受注額（原系列）	-----	24
機種別受注額（ 〃 ）	-----	29
機種別販売額（ 〃 ）	-----	33
機種別受注残高（ 〃 ）	-----	37
機械受注統計調査結果表（2023年10月実績）	-----	41

(別紙)

需要者（業種）分類の表章変更	-----	45
----------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----